

DOAJ 収録のための必要最低限の条件

申請できるジャーナルの種類

あらゆる言語で発行されたオープンアクセスジャーナルが申請可能です。ジャーナルは「[学術出版における透明性の原則とベストプラクティス](#)」に記載されているガイドラインを遵守する必要があります。

- 申請するジャーナルは、現在刊行中で、学術研究を発表するジャーナルでなければなりません。

- あらゆる研究分野のジャーナルの申請を受け付けます。
- 年間5本以上の研究論文を掲載している必要があります。
- ジャーナルの主な対象読者は研究者または実務家であることが必要です。

- 新たに刊行されたジャーナル

- 新たに刊行されたジャーナル、またはオープンアクセスに移行したジャーナルは、DOAJへの申請前に1年以上の刊行の実績、もしくは少なくとも10本以上のオープンアクセスの論文を掲載していることが必要です。

オープンアクセスの種類

- DOAJでは、オープンアクセスジャーナルのみを受け付けています。
- DOAJでは、オープンアクセスジャーナルを、学術著作物の著作権者が、オープンライセンス（クリエイティブ・コモンズまたはそれと同等のもの）を使用して他者に使用権を付与するジャーナルと定義します。その著作物への即時の無料アクセスを可能にし、あらゆるユーザーが論文の全文を読むこと、ダウンロードすること、複製すること、配布すること、印刷すること、検索すること、または論文の全文にリンクすること、インデックス作成のためにクロールすること、それらをデータとしてソフトウェアに渡すこと、またはその他の合法的な目的で利用することを許可しているジャーナルと定義しています。
- ジャーナルは、DOAJのオープンアクセスの定義を満たしていることを示すオープンアクセスステートメントを提示しなければなりません。
- すべてのコンテンツの全文が、刊行と同時に、無料でオープンアクセスにされなければなりません。
 - エンバーゴ期間があってはなりません。
 - コンテンツを読むためにユーザー登録を必要とすることは受け入れられません。
 - ジャーナルの印刷版については、有料であっても構いません。

ジャーナルのウェブサイト

- ジャーナルは、どこからでもアクセスできるジャーナル専用のURLとホームページを持つ必要があります。

- 各論文は、個別のフルテキスト論文として利用可能なものでなければなりません。
 - 論文ごとに固有の URL が必要です。
 - 最低でも HTML または PDF で公開されている必要があります。
- 押しつけがましい広告を含めるジャーナルは採択されません。広告に関するベストプラクティス[推奨事項](#)を参照ください。
- DOAJはインパクトファクターやランキングメトリクスの使用を認めていません。ただし、Clarivateが算出したJournal Impact FactorおよびScopusの指標を表示することはできます。ジャーナルは、他のサービスによるインパクトファクターやランキングメトリクスを掲載（画像、リンク、ロゴ）してはいけません。
- ウェブサイトは英語である必要はありません。多言語によるウェブサイトの場合は、提供される情報はすべての言語で同じである必要があります。

以下の情報がオンラインで入手でき、ジャーナルのホームページから容易にアクセスできることが必要です。

- オープンアクセスポリシー
- 目的と領域（Aims and scope）
- 編集委員（全委員の所属機関も明記）
- 投稿規定
- 編集プロセス（ピアレビュー）
- ライセンス（使用許諾条項）
- 著作権条項
- 著者から徴収される料金
 - 料金を徴収しない場合は、その旨を記載しなければなりません。
 - 投稿から出版において、著者から徴収する可能性のある下記のようなすべての料金を含みます。
 - 投稿料 (submission fees)
 - 編集料 (editorial processing charges)
 - 論文掲載料 (article processing charges)
 - ページチャージ (page charges)
 - カラー料金 (colour charges)
 - 料金免除の場合は、免除の条件（金額、期間など）を明記すること。
 - 投稿後の論文撤回に費用が発生する場合、著者から徴収される料金を超えることはできません。
- 連絡先
 - 連絡先には、担当者名とジャーナル専用のメールアドレスを記載する必要があります。
 - 申請書およびジャーナルのウェブサイトに記載されている国は、出版社が登録さ

れ、事業活動を行っている国でなければなりません。

ISSN

- ジャーナルは、issn.org で登録・承認された ISSN（国際標準逐次刊行物番号）を 1 つ以上有していなければなりません。
- ISSN は、ウェブサイト上で表示する必要があります。
- 申請書およびウェブサイトに記載されているジャーナル名は、issn.org に記載されているものと一致している必要があります。

ジャーナルの質の管理プロセス

- ジャーナルには編集者と編集委員会が必要です。
 - 編集委員会がウェブサイトに掲載されていることが必要です。
 - すべての編集者と編集委員の名前と所属が記載されていなければなりません。
 - 査読者の一覧を提示するジャーナルは、査読者の氏名と所属先を記載しなければなりません。
 - 編集委員会は、少なくとも 5 名の適切な資格と専門知識を持つ編集者から構成されることが必要です。編集委員会は、全員が同じ機関の出身ではないことが推奨されます。
- すべての論文は、出版前に品質管理システム（ピアレビュー）を通過していなければなりません。
 - 査読プロセスの種類や詳細について、ウェブサイトに明記しなければなりません。該当する場合には、特集号のプロセスについても明記しなければなりません。
 - 各論文は、少なくとも 2 名の査読者により査読されるべきです。
- 剽窃チェックサービスの利用を強く推奨しますが、DOAJ に掲載されるために必要ではありません。
- ジャーナルの関係者による論文の掲載（endogeny）は最小限にとどめるべきです。
 - 著者のうち少なくとも 1 人が編集者、編集委員、または査読者である掲載論文の割合は、最新 2 号のいずれにおいても 25% 以下である必要があります。

特集号

特集号やゲストエディターが監修するその他のコンテンツを発行するジャーナルは、以下の追加基準に従わなければなりません：

- 編集長は、すべての特集号を含むジャーナル全体の内容に責任を持たなければなりません。特集号は、ジャーナルの領域内のものでなければなりません。
- 特集号の論文は、外部査読も含め、通常の論文と同様の編集監督を受ける必要があります。特集号の論文であることが明確にラベル付けされなければなりません。
- ジャーナルは、ゲストエディターの資格の確認と承認を確実に行わなければなりません。
- 編集長または担当する編集委員がゲストエディターを監督しなければなりません。

- ゲストエディターが特集号に投稿する論文は、独立した査読プロセスのもとで扱われ、また掲載号の25%以下でなければなりません。

ライセンス

- 公開されたコンテンツの利用・再利用の許諾条項がウェブサイト上に明記されていなければなりません。
- DOAJ では、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの利用を推奨しています。
- クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを使用しない場合は、同様の条件を適用する必要があります。
 - この場合は、特に注意して条件を明確に述べなければなりません。
- ライセンス情報を全文記事に表示または埋め込むことが推奨されますが、DOAJ への収録の必須条件ではありません。

[ライセンスについてより知りたい方はこちら](#)

著作権

- 公開されているコンテンツに適用される著作権条項は、明記する必要があり、またウェブサイトに適用される著作権条項とは区別されているものである必要があります。
- 著作権条項は、ライセンス条項やオープンアクセスポリシーの条項と矛盾してはなりません。
 - "All rights reserved" (著作権者にあらゆる権利が留保される状態) はオープンアクセスコンテンツには決して適切ではありません。

[著作権についてより知りたい方はこちら](#)

一部のジャーナルタイプの追加基準

人文学系のジャーナル

[これらの分野 \(10-16 ページ\)](#) については、DOAJ ではピアレビュー (peer review) ではなく編集委員による査読 (editorial review) を行うジャーナルを受け付けることができます。編集委員による査読は最低 2 名の編集委員で行わなければなりません。

臨床症例報告誌

DOAJ では、症例報告が 3 例以上の臨床例のレトロスペクティブ分析及び／もしくは文献レビューを含む場合に限り、研究とみなしています。申請する前に、ジャーナルがこの定義を満たす論文を年間 5 本以上掲載することが必要です。。

会議のプロシーディングスジャーナル

会議録を出版するジャーナルは、ISSNを持ち、常設の編集委員または諮問委員が必要です。出版された各会議の論文は、DOAJの基準に従って査読されていなければなりません。すべての会議論文のフルテキストが利用可能でなければなりません。単独の会議録はDOAJに収録されません。

データジャーナル

DOAJでは、データやデータセットに関する研究論文を掲載するジャーナルを受け付けますが、単にデータセットにリンクしているだけのジャーナルや、データセットが利用可能であると公表しているだけのジャーナルは受け付けていません。

オーバーレイジャーナル

DOAJでは、プレプリントサーバーなどでホストされている論文を選別して査読するジャーナルを受け付けます。

学生が発行する雑誌

ジャーナルが学生団体によって運営されている場合は、少なくとも2名の委員が博士号またはそれに相当する資格を有する顧問委員会が設置されていなければなりません。

オープンアクセスに移行したジャーナル

以前は購読型またはハイブリッドジャーナルとして発行されていたジャーナルが、完全なオープンアクセスモデルに移行した場合、下記の情報は明確に表示しなければなりません。

- 完全にオープンアクセスに移行した日
- アーカイブされたコンテンツの利用可能性（オープンアクセス、無料、有料）について
- アーカイブされたコンテンツの再利用に関する権利（著作権者による全権利の留保またはオープンライセンス）

ジャーナルがオープンアクセスへ移行後に発行されたすべてのコンテンツが完全にオープンアクセスでなければなりません。

DOAJは、完全なオープンアクセスジャーナルとして少なくとも10本の研究論文が掲載された後、収録の審査を行います。

ミラージャーナル

ミラージャーナルとは、既存の定期購読型ジャーナルの完全オープンアクセス版であり、目的と領域、査読プロセスとポリシーが同じで、編集委員会も50%以上が同じメンバーで構成されているものです。ミラージャーナルは、定期購読型ジャーナルと同様のタイトルを持つことができますが、ISSNは異なるものでなければなりません。DOAJでは現在、通常の基本的な収録基準を満たしていれば、ミラージャーナルを受け付けています。

書評誌

書評のみから構成されるジャーナルは受け付けません。

申請プロセス

1. スクリーンにThank Youが表示され、確認メールが届けば、申請は完了です。
 - メールが届かない場合はご連絡ください。
2. 編集者が応募書類を審査します。このプロセスが開始されると、アラートメールが届く場合があります。
3. 審査中に編集者から連絡がある場合があります。編集者から送られた質問には必ずお答えください。そうすることで、あなたの申請を正しく処理することができます。1ヶ月経っても質問への回答がない場合は、申請を却下させていただきますのでご了承ください。
4. あなたの申請書を審査する編集者はボランティアである可能性があり、その場合はdoaj.orgのメールアドレスを持っていません。万が一、迷惑メールフォルダにメールが届いてしまった場合に備えて、迷惑メールフォルダを頻繁にチェックしてください。
5. あなたの申請が受理された場合、確認のメールが届きます。

提出から決定までの期間

提出から決定までの期間は、ジャーナルの担当者や申請者の対応によって大きく異なります。一般的には3ヶ月以内に決定されます。提出から3ヶ月未満の申請については、最新の状況をお知らせすることができません。

申請が却下された場合

不採択の理由を記載したEメールをお送りします。DOAJスタッフから別段の指示がない限り、不採択の通知から6ヶ月が経過するまで、同じジャーナルへの再申請はできません。

ISSNが未確認のために申請が却下された場合、DOAJの却下通知から3ヶ月以内にISSNが確認できれば、申請を再開できる可能性があります。[DOAJヘルプデスク](#)にメールしてください。

申請書を提出する際には、正確な情報を提供する責任があります。不正確な情報、誤った情報を含む申請、または回答が欠落している申請は自動的に却下されます。

DOAJは、適正な出版慣行に従っているジャーナルのみを受け入れます。DOAJの審査により、出版社がベストプラクティスを遵守していない、真実でない、あるいは誤解を招くような情報を提供している、あるいは出版慣行に問題があると判断された場合、DOAJはその出版社からの今後の申請を最長3年間認めません。

複数回、合計6年以上の除外処分を受けたジャーナルや出版社は、DOAJへの登録が検討されず、それらの出版社からの申請は自動的に却下されます。

すでにDOAJに登録されているジャーナルも、DOAJの基準や出版のベストプラクティスを守っていないと判断された場合、削除されることがあります。

除外期間後に再度申請する場合は、そのジャーナルがDOAJの掲載基準を満たしていること、ジャーナルのウェブサイトやポリシーに必要な変更がなされていることを確認してください。

異議申し立て

ジャーナルがDOAJから除外された場合、または申請が却下され、少なくとも1年間は新たな申請が認められない場合は、異議申し立てを行うことができます。DOAJ異議申し立て委員会までEメールでご連絡ください。

異議申し立てには以下の情報を記載してください：

- ジャーナル名
- ジャーナルのISSN
- 異議申し立ての理由
- DOAJ異議申し立て委員会が考慮すべき証拠
- 却下／除外の通知原本

異議申し立ては、編集責任者と編集チームのメンバーで構成されるDOAJ異議申し立て委員会によって検討されます。委員会は毎月開催されます。審議後、委員会メンバーから異議申し立ての結果について連絡があります。この担当者は、あなたの案件を最初に担当した編集長とは異なります。

異議申し立てが審理され、委員会が決定を下した後は、それ以上の連絡は一切行いません。

バージョン履歴

バージョン2.2

DOAJ シールの基準

DOAJシールは、オープンアクセス出版のベストプラクティスを示すジャーナルに授与されます。DOAJに索引付けされているジャーナルの約10%がこのシールを獲得しています。

DOAJに採録されるために、ジャーナルがシールの基準を満たす必要はありません。

DOAJ シールを取得するためには、7つの条件を満たす必要があります。これらは、長期保存、永続的識別子の使用、発見性、再利用のポリシー、著者の権利に関するベストプラクティスに関するものです。

基準

ジャーナルがシールを授与されるためには、7つの条件をすべて満たす必要があります。これらの条件に記載されているベストプラクティスや水準を維持できない場合は、シールを取り消されることがあります。

1. デジタル保存

ジャーナルのコンテンツは、以下のアーカイブのいずれかに継続的にデポジットされている必要があります。

- [The Keepers Registry](#) に含まれているアーカイブ機関
- Internet Archive
- PubMed Central

2. セルフアーカイビングポリシー

著者は、自分の論文については下記のような全てのバージョンを機関リポジトリまたは主題リポジトリにデポジットすることを許可されなければなりません。

- プレプリント
- アクセプトされた著者原稿
- 出版された論文 (Version of Record)

エンバーゴは適用されません。

3. 永続的な論文の識別子

記事は恒久的な論文識別子を使用しなければなりません。DOI、ARK、または Handle が最も一般的に使用されています。

すべての永続的なリンクは正しくリゾルブされている必要があります。

4. DOAJ へのメタデータ提供

論文のメタデータが定期的に DOAJ にアップロードされる必要があります。

5. ライセンスの種類

ジャーナルは、二次的著作物の作成を可能にするクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの使用を許可しなければなりません。

- CC BY
- CC BY-SA
- CC BY-NC
- CC BY-NC-SA

6. 論文中のライセンス情報

クリエイティブ・コモンズのライセンス情報は、すべてのフルテキスト論文に表示する必要があります。

7. 著作権・出版権

ジャーナルにより許可されたライセンスのもとで出版する場合であっても、著者は無制限の著作権とすべての出版権を保持されなければなりません。

バージョン履歴

バージョン 1